

きずな



発行 観音寺市民生委員児童委員協議会

会長 田中英昭

住所 観音寺市坂本町一丁目1番6号



民生委員児童委員活動の現況



観音寺市民生委員
児童委員協議会

会長 田中英昭

民生委員児童委員・主任児童委員の皆様には、日々福祉活動に御尽力賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。近年、刻々と変化する社会情勢やさまざまな社会的課題を背景に、地域住民が抱える生活課題の複合化・深刻化や人と人、地域とのつながりの希薄化が進んでいます。

急速に進む一人暮らし高齢者の増加、少子化による人口減、介護施設等の人材難、生活保護申請の増加、関税不況問題、長期金利の変動による生活不安、消費者問題、入院や入所時の保証人問題等私たちの生活や社会に大きな不安を抱える要因が増大しています。また、温暖化による熱中症対策も喫緊の課題です。

このような中、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に展開する「重層的支援体制整備事業」が創設され、県内においても地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制づくりが進められています。また、「こども基本法」や「孤独・孤立対策推進法」の施行により、複合的な課題に取り組む方策がとられています。

私たちが今後取り組まなければならない課題はたくさんありますが、活動の基本となる毎月の定例会の在り方を検討し出席率の向上を図り、全委員が一堂に会し協議・研鑽・意見交換ができるように日時や場所等の検討を行いたいと思います。また、より効果的な研修会の実施

や社会福祉協議会、地域包括支援センターとの協力も必要となります。なお、創設10周年を迎えた香川おもいやりネットワーク事業との連携も必要です。

毎年のように地震や台風・豪雨による大規模災害が発生し、広域にわたって甚大な被害をもたらしています。頻発する災害に備えた地域づくりも求められているところです。市内には11の地区民児協があります。各市区それぞれ地域特性があり沿岸部から山間部まで、地区ごとの防災マップ避難計画の策定を市危機管理課や自治会と協議し更新する必要があります。

このような困難の多い時代に、私たちの民生委員・児童委員に対する地域住民からの期待が大きなものとなっている今、私たちは先達の思いや情熱を心に刻み、信条を胸に原点に帰り「よき隣人」として地域住民の相談に応じ、必要な支援につなぐとともに、行政・社協・地域の関係機関・団体等と更に連携して、地域福祉を推進する大切な役割を担っていかたいと思います。

本年12月に一斉改選があります。皆様に関わっている地域への思いや、やりがいなど、後任の民生委員や福祉委員の方に伝えてください。何もわからない新任委員にとっては、そうしたことも聞いてみたいのではないのでしょうか。引き継ぎの際には、見守り等の支援が必要な住民の方と一緒に訪問し、新旧交代の顔つなぎをお願いします。住民にとっても、新任委員にとっても、初めての顔合わせは、お互いの人柄もわからない中で緊張もします。皆様がこれまで行ってきた見守りや相談・支援を継続していくためにも、ぜひ御協力をお願いいたします。

観音寺地区民児協

〔会長〕山下

実

民生委員・児童委員 27人
主任児童委員 3人

私たち観音寺地区民生委員・児童委員協議会は、総勢30人の大所帯です。毎月、定例会では、全員で議題や周知事項について協議した後、各公民館区ごとに集まり、各地区での活動計画や個別の問題について話し合っています。

観音寺地区全体での活動としては、3年間「民生委員・児童委員の日」活動強化週間事業の一環として、観音寺小学校へ体育館連絡通路の衛生マットを寄贈するとともに、5・6年生全員に民生委員・児童委員活動を説明したリーフレットを配布し、制度の周知を図ってきました。

また、各公民館区ごとに歳末の地域福祉活動として、給食サービスや独居高齢者友愛訪問活動を実施してきました。

観音寺地区は広範囲ですが、住民間には密接なつながりがあることから、問題を解決する上で民生委員・児童委員が相互に連携を図ることが重要となります。

そこで、本協議会においては、定例会とは別に、夏と冬に懇親会を開催し、相互の親睦を図ってきました。



私は、民生委員活動について、一人で悩むことなく、必要に応じ他の地区の民生委員・児童委員と連携して、市役所などの行政機関や社会福祉協議会に情報を提供するなど橋渡しをするこゝとで、問題解決を図ればよいと考えます。

そのためには、民生委員・児童委員自身が健康で活動することが大切なので、健康に留意し、みんなで任期を全うしたいと思っています。

高室地区民児協

〔会長〕入江

勉

民生委員・児童委員 7人
主任児童委員 2人

ある日、自治会長から話があるので聞いてほしいと相談があり、よくよく話を聞いてみると、民生委員を引き受けてほしいと言ったことでした。私は民生委員とはどういう仕事をするのかも分かっていなかったが自治会長の勧めに負け引き受けることになりました。

民生委員の活動はどんなことかも十分に分からず引き受けたことを後悔しながら新任委員の研修を受けて、一人暮らし高齢者を訪ね安否確認などの活動をしているうちに、慌ただしく時が過ぎていきました。地区内行事があればそれに参加して情報を収集することも民生委員として大切なことと参加をしてまいりました。

地区内で民生委員として活動する中、福祉委員と民生委員がそれぞれの立場で地域住民のいろいろな問題解決に役立つ活動をしていけるよう、合同の研修会を開き情報を共有しています。

民生委員の活動を地域の皆に紹介するために、「民生委員・児童委員の日」の活動で地区内小学校の児童にパンフレットなどを使って「民生委員はこんなことをしています。困りごとなどがあつたら地区内の民生委員さんに相談



してください。」等と話をしながらPRしています。そして児童の学校生活に使ってもらえる用具等を贈っています。

民生委員活動の中で一人暮らし高齢者の安否確認では、新型コロナウイルス感染症の流行により最初はお会いしてお話することが少なかったのですが、収束になりかけてからは、お宅を訪問すると話し込むことも多くありました。一人暮らしの方には、お話を聞くこと、お話をすることが大切ではないかと思っています。

常磐地区民児協

〔会長〕西川 文雄

民生委員・児童委員 10人
主任児童委員 2人

2022年12月1日付で民生委員・児童委員として委嘱された時は、新型コロナウイルス感染症の真只中でありました。その後、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが2023年5月8日に「5類」に移行しました。ようやく人との交流が安全に始まりましたのが2023年の半ばぐらいからです。民生委員に委嘱されて二年目ぐらいから活発に行事が行われるようになりました。常磐地区においても「福祉の町ときわ」を実現するために、常磐地区福祉活動計画を策定しスローガンを「ひとにやさしいまち、ときわささあまち、ときわ」とし、各部会の活動を行ってきました。

○総務部会では、「ときわ福祉だより」の発行（年2回）、長寿者表敬訪問、研修行事の企画推進（福祉委員と民生委員との合同研修会）

○ボランティア部会では、年2回の高齢者・一人暮らし高齢者への給食サービス。

○健康福祉部では、健康保持・増進に関する研修、高齢者のための転倒予防運動教室の実施。

○児童福祉部では、こども園・小・中学校との交流や支援学校との交流。
○在宅福祉部では、「ふれあい一日サロン」の実施や各地区サロンの充実・拡大のための支援を行っています。

これらの活動をとおして、団塊の世代が後期高齢者に達し超高齢化社会となる2025年以降の社会の在り方を考えていく必要があります。のんびりしている時間はありません。今の制度

に頼るだけではなく、一人一人にできることは何かを考えていかなければなりません。高齢化社会を生きぬくには、老後の暮らしが安定し希望する生活スタイルを維持するための努力を惜しんではならないと思います。

私が住んでいる常磐地区は、人口が六千人余りの小さな地域です。高齢者の一人暮らし世帯や高齢者世帯が増え家庭同士、子ども同士のつながりも薄くなってきました。自然災害や突発的な事故が起きた時は、お互いの顔が見えないことが一番怖いと思います。高齢者や子どもは初動が遅れがちになります。みんなで助け合うためには地域のつながりを強くすることが大切であります。住民、行政、企業が手を取り合って地域を元気にする活動が今求められているのではないのでしょうか。



柞田地区民児協

〔会長〕秋山 治司

民生委員・児童委員 13人
主任児童委員 2人

あれは梅雨明け3日目の朝でした。突然の前会長の訃報、当時副会長であった私は、しばらく会長代行を務めていました。市社協から、会長不在では、市社協の評議員等充て職があるので会長職を誰にするか決めて欲しいとのことで、持ち帰り地区民児協で協議しました。経験年数等を勘案し正、副会長を決定しました。令和4年度終了後、地区社協の会長は、自治会協議会会長から、地区民児協会長が令和5年度から執行することに変更となりました。市民児協理事會が毎月第二火曜に開催され、市行政、市社協から、事業説明及び連絡事項を受け、午後から地区民児協で会長が説明します。詳しい説明や質問については、同席の市社協地区担当から、説明いただきます。

地区民児協会長は、市民児協関係団体の委員として充て職を兼務しています。また、市民児協の4つの専門部会の部会長または副部会長となります。私の場合、児童福祉専門部会長として、わくわく福祉フェスタの参加に協力しました。子どもたちの缶バッチ作り、お菓子づくりを見て目がいきいき輝いていたことに、純真さを感じました。地区民児協の活動は、担当地区の一人暮らし高齢者の見守り活動が主な職務となり、生活上の心配ごと相談等、関係機関に適切につなぐことが重要です。一人暮らし高齢者は、孤独死または火災で亡くなるリスクが非常に高く、担当地区でも記憶にあるだけで、孤独死2件、火災死亡が2件発生しています。また、冬場の入浴時にヒートショックで亡くなるケースも数件発生しています。

「民生委員・児童委員の日」の取り組みとして、令和4年度は、PR用ポケットティッシュを柞田こども園、観音寺中央幼稚園、柞田小学校に通う子どもたちに贈呈し、翌年度から、小学校5年生を対象とした出前福祉教室に

参加し、高齢者疑似体験、車いす体験、視覚障がい者体験の実施に協力しました。各担当地区の民生委員・児童委員、主任児童委員を紹介した後、活動状況説明及び講話（将来を担う子どもたちにエール）を行い、自習帳を贈呈しました。

地区社協にも、4部会（総務部会、ボランティア部会、健康福祉部会、児童福祉部会）があり、民生委員が各部会の活動を推進しています。日頃の活動を通じて思うことは、委員は自分に使う時間を削って参加しているボランティアと思えば感謝の念に堪えません。福祉とは、幸せであることと言われるが、日常が幸せになりますよう、各委員が健康で日々精進されますことを願っております。



豊田地区民児協

〔会長〕 齋藤 宗久

民生委員・児童委員 7人
主任児童委員 2人

当地区の委員は定員9人ですが、主任児童委員一人が再任で、7人までが交代し一人欠員でのスタートとなりました。任期半ばの頃に欠員も決まり、暫定的な担当自治会も本来に戻り安定した体制となりました。

民児協の運営については、これまでどのように運営してきたのかわからず、連絡・報告事項以外では、雑談を含めみんなが自由に発言できることを大切にしてきました。和気あいあいに運営できたのではないかと思います。

話の中には特定の人の対応をめぐる話や、悩みごともあり、いまだ解決に至っていないものもあります。他の委員の話は、私自身もそうですが、皆さんにとっても参考になることも多かったと思います。正直なところ自分の抱えるケースだとしたらどのような対応できたのだろうかと自問自答したこともあります。

また、委員が連携して行う活動の多くは地区社協の活動（全委員が地区社協の役員を兼務）で、この活動の話も多くありました。どの部も引き継ぎを受けた時から違和感なくベテラン勢として活動されていることに素晴らしいさを感じています。

個人的なことではありますが、私の担当自治会は4自治会（合わせて約170世帯）で所属の自治会内のことにはある程度知っているし、想像もつきません。しかし隣の自治会となると以前からいる人はある程度わかりますが、家



族構成はほとんど知らず、転居で新たに來られた人は名前さえわかりませんでした。給食サービス等で訪問して初めて知った人が多かったのです。普段あまり付き合のない地域を知るよい機会になりました。

この3年間は、長かったようにも早かったようにも感じています。私を含めどの委員も時には迷いや戸惑いもあったと思いますが、ともあれ3年の任期の区切りを揃って迎えようとしております。地区民児協の会長としては、構成の委員はもとより関係する方々の御協力に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

栗井地区民児協

〔会長〕 穴島 義雄

民生委員・児童委員 5人
主任児童委員 2人

2年前、民生委員について愚痴をこぼしたところ、先輩は「楽しく民生委員活動をした方がいいよ」とアドバイスをくれました。そんなある日、連絡を受け先輩が急逝したことを聞きまして、これからのいろいろなことを教えていただきたかったのに、残念でなりません。

先輩がおっしゃった「心は丸く、腹は立てず、してあげるのではなくさせてもらう奉仕の心で。そして、楽しく民生委員として活動をする」という言葉を大切に活動しています。

栗井地区の活動では、1月はとうとうばやしに参加しました。小学生が書初めの作品や正月飾りを焚き上げ、灰が高々と舞い上がると、子どもたちの願いが叶うと言われています。また、南海トラフ地震に備えて、防災訓練に参加しました。バケツリレーをしたり、応急手当などの訓練を体験しました。炊き出しのサツマイモご飯を食べました。

6月には、あじさい祭りの運営スタッフとして参加しました。そこでは腹踊りや観音寺第一高等学校吹奏楽部の素晴らしい演奏と龍王太鼓の力強いパチパチに感動しました。

11月は、地区の文化祭があり、いろいろな作品や学習発表での児童の演技



に感動しました。また、「民生委員・児童委員の日」では、藤田城址まで歩きました。そこでは三二四国八十八ヶ所もあり歴史にロマンを感じました。12月には、菩提山ウオークで頂上目指し、市内一円や瀬戸の島々を眺めることができました。また、三世代交流しめ飾りづくりでは、試行錯誤のうえ手作りの飾りができ上がり大満足でした。

さまざまな活動に携わる中で、「楽しんで活動する」と言う先輩の言葉によって、2期目はとても充実した活動ができました。

木之郷地区民児協

〔会長〕高橋 康員

民生委員・児童委員 2人
主任児童委員 2人

私たちの木之郷地区民児協は、民生委員・児童委員2人、主任児童委員2人の計4人で活動しています。少人数の組織のため、募金活動や赤ちゃん訪問などの活動は、常に4人全員で一緒に取り組んでいます。

そんな活動の中で本地区独自の活動として「木之郷キッズキッチン」があります。これは、長期休業中に、木之郷地区の子どもたちや保護者から参加者を募り、一緒に昼食を作って食べたり、遊んだりする催しです。運営は主任児童委員が中心になって、地区社協や子ども会、第2層協議体、公民館など、たくさんの方々の協力を得ながら行っています。

令和5年の夏休みには、朝早くから第2層協議体の方々が中心になって、事前に山から切り出した竹を使って流しそうめんの準備を進めてくれました。民生委員も一緒に竹のこの設置などを行いました。また、主任児童委員は、地域の方々と共に、流しそうめんの準備やおむすびづくりを担当しました。

準備が終わったころには、子どもたちや保護者の方々がたくさん集まってきました。初めは緊張していた子どもたちも、流しそうめんが始まると、だんだん歓声が上がるとなりました。そしていつの間にかたくさんの方々の笑顔が見られるようになりました。



みんなで同じことに挑戦し、同じ釜の飯を食べる体験は、子どもたち同士の心の距離を近づけることがよく分かる光景でした。

この他にも、みんなで焼き肉をしたり、ピザやケーキ作りをしたりと協力しながらこれまで続けてきました。木之郷地区に住む子どもたちの絆づくりのためには、とても意義のある活動だと感じています。また、私たちが子どもたちの実態を把握し、保護者とのつながりを深めるいい機会にもなりました。

これからも、高齢者の見守り活動や子育て相談などの活動も継続しながら、木之郷地区民児協の活性化を図りたいと考えています。

一ノ谷地区民児協

〔会長〕小西 和夫

民生委員・児童委員 7人
主任児童委員 2人

一ノ谷地区民生委員児童委員協議会は、民生委員7人、主任児童委員2人の計9人で一ノ谷地区4町内2208世帯4642人を受け持つ活動しています。地区内には、一人暮らし高齢者90人、高齢者世帯は、89世帯あります。最近の高齢化率は、24・6%となっており他の地区内同様年々増加しています。

協議会の活動は、毎月第二火曜日に定例協議会を開催して理事会の周知事項等を伝達して全員が意識統一を図り、今後の活動に役立つようにしています。

4人が新しくメンバーとなり、新旧委員の引継ぎ会の他、定例会では新委員の質疑応答時間を設ける等委員全員が共通対応できることに取り組みました。

具体的な取組施策として、機関紙「いちのたに」に民生委員・児童委員名簿の掲載をして各地区の担当者を周知しました。

「民生委員・児童委員の日」の取組として、初年度は、コロナ禍のため学校にコロナ感染対策グッズをPRチラシ等とともに贈呈しました。ここ2年は一ノ谷地区文化祭に合わせて、来場者に声かけをしてPRちらし等を配布しました。



日常の活動は、高齢者宅の訪問、一人暮らし高齢者の見守り活動をしています。住民からの福祉関係をはじめとする各種困りごと相談等に対応し、関係機関に「つなげる」活動をしています。

地区社協の兼務活動では、小学校集団登校時の交通安全見守り活動、青色防犯パトロール、歳末街頭募金、ふれあい・いきいきサロン、おはぎの宅配サービス、小学校福祉体験学習の支援、保育所の交通安全キャンペーンの支援等々の各種施策に参加協力し活動しています。

大野原地区民児協

〔会長〕佐伯 秀信

民生委員・児童委員 24人
主任児童委員 2人

地域の高齢者の実態調査、一人暮らし高齢者の見守り、高齢者宅を訪ねて話を聞き、困りごとや心配ごとがないか聴くことが民生委員として一番大切な業務だと思っています。福祉施設での花生けボランティア、共同募金の街頭募金への協力、「民生委員・児童委員の日」の街頭PR、心配ごと相談等多くの行事がありました。

また、昨年11月には全国民生委員児童委員会に田中会長と参加させていただきました。香川県民児連の前田会長や県内の市町の会長とも情報交換や親睦を深めることができた大変貴重な経験になりました。

毎年恒例の視察研修旅行では、昨年は神戸の「人と防災未来センター」へ行きました。ここでは阪神淡路大震災の地震の体験や映像の記録、語り部さんの実体験を聴くことができました。改めて防災、減災に備えた避難訓練や非常持出品の準備等の重要性を感じました。

今年は広島県福山市にある「(株)エフピコ福山リサイクル工場」へ行きました。ここでは消費者（スーパーマーケット等）から回収した食品トレイを新しいトレイに再生する過程を見学しました。コストをかけない工場運営、循環型リサイクルシステム、環境への配慮などの特徴を持っています。また、障がい者雇用率も高く、皆さん長期継

続就労されているそうです。「障がい者を理解した上で、健常者と同じように接している。」とのことでした。差別ではなく相手のことをきちんと理解した上で一緒に仕事をしている現場を見学させてもらい大変素晴らしいことだと思いました。

3年間を振り返ると「あれもやっておけば良かった」「これもしておけば良かった」等々反省点ばかりが思い浮かびますが、本当に貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。



豊浜地区民児協

〔会長〕田中 英昭

民生委員・児童委員 17人
主任児童委員 2人

私たちの住む豊浜町は少子高齢化により人口減が進み、市内で唯一過疎地指定を受けました。現在19人の民生委員で活動を行っています。

一人暮らし高齢者等の見守り・定例会の開催・小中学校での挨拶運動・心配ごと相談等を中心に行っています。地区独自の活動として民生委員・児童委員の日の行事として「マップウォーキング」を行っています。民生委員・福祉委員や地域の皆さんが子どもたちと一緒に下校しながら通学路を点検します。行政・警察と協力し、毎年30件程の危険箇所を改善要望し子供たちの安全な登下校を支えています。その際に「こども110番」のステッカーの位置確認も同時に行っています。

今年で19回目ですが、さまざまな工夫を凝らして、今後、地域の子どもたちのために継続していきたいと思っています。毎週の朝の挨拶運動の継続により「元気で明るい豊浜っ子」の育成に役だっていると思います。

また高齢者には、きずなカードの配布世帯をより積極的に増やし、一人暮らし高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう協力したいと思っています。

新しい取り組みとしては、人口減対策の一助としてかがわ縁結び支援センターと連携し、婚活の拡がりを視野に入れたと思っています。

地元では、新しい「道の駅」の計画も進んでいます。いろいろな変革に対処するため地区内諸団体との情報共有・連携も強化し「ちようさ祭り」等の伝統文化を守り、賑わいと活気の戻る町にしていく一翼を担う民児協になりたいと思っています。



伊吹地区民児協

【会長】

伊瀬 啓

民生委員・児童委員 3人
主任児童委員 2人

民生委員を頼まれた時、覚悟はしていましたが、受けた時からすぐに会長ということでも不安もありました。

民生委員・児童委員3人と主任児童委員2人の5人で地域の情報を共有し、できることを相談しています。

生活上の相談に応じようとしてもなかなか相談自体をしてもらえず、周りの人が相談してくることが多かったと感じます。土地柄からかお節介で親切な人が多い代わりに、人の世話になるのを嫌がる人が多かったように思います。

最後に、病院へ連れて行ったりして感謝の電話をいただいた時はうれしかったです。まだまだ認知度も低く手探りの状態ではありますが、5人で力を合わせて民生委員児童委員信条を肝に銘じ努めたいと思います。



視察研修

総社市社会福祉協議会

令和6年10月29日に岡山県のサンロード吉備路にて視察研修を行い、総社市社会福祉協議会と下原・砂子自主防災組織相談役で民生委員をされている川田氏から「災害における要支援者への支援と民生委員・児童委員の役割について」と題し、講演をいただき観音寺市民児協105人が参加しました。

総社市は、平成30年7月に西日本豪雨災害により大きな被害を受けました。下原地区は高梁川、新本川、小田川に囲まれており、以前にも大雨が降り堤防が決壊して大洪水が発生しました。その経験を生かし2012年に、自治会を中心に民生委員、福祉委員、子ども会、消防団などで構成された自主防災組織を設立しました。そして、要支援者の避難は家族が主体で行い、支援を7つの班ごとに班長をリーダーとして避難するよう協議のうえ決め、毎年避難訓練を実施しました。また、「災害は時を選ばない」ということで、夜間の避難訓練も実施しました。下原地区から避難所（吉備路アリーナ）まで約4キロメートルあり、夜間は昼間より避難に要する時間が1.5倍以上かかります。実際被災時には、アルミ工場爆発の影響でつぶれて動かない車が何

台もあり、動かすことのできるワゴン車で何回もピストンして要支援者を避難所まで移動させたそうです。翌朝、避難所では時間とともにさまざまな感情を抱き、「避難指示は早かったのか」「夜間に非難を決定したのは正しかったのか」という声がありました。が、下原地区の大半が冠水となりました。結果、夜間の避難は間違いではなく、一人の犠牲者も出さなく、後に「下原のキセキ」と呼ばれるようになりました。

また、総社市社協からの説明では、災害ボランティアセンターの活動の中

で、被災者の困りごとを聞くキーパーソンとして民生委員の存在が大きく、ニーズ調査に困りごとを抱えた方の情報をもらえたり、直接的に市や社協へ困りごとを言えないが、民生委員が話を聞くことによって伝えることができたという報告がありました。

今回の講演を聞き、民生委員が地域防災の話し合いの場に参加して、「地域力」「近所力」につなげるため顔の見える関係をつくっていくことが大切であると、今後の民生委員・児童委員の活動における基本姿勢を再確認しました。

令和7年度から毎月、保健センターで行う10か月児相談で窓口を開設し、主任児童委員がお祝い品をお渡ししています。

子どもに関わることやご自身のことでさまざまなお悩み、心配ごとなどありましたら、民生委員・児童委員または、主任児童委員にご相談ください。担当地区の委員への連絡については、下記までお問い合わせください。

連絡先 観音寺市民生委員児童委員協議会
問い合わせ ☎0875-25-7773
(観音寺市社会福祉協議会)



私たちは、**民生委員児童委員、主任児童委員**です!

厚生労働大臣から委嘱をされて活動しています。

民生委員児童委員・主任児童委員は、地域の「身近な相談役」です。

民生委員児童委員・主任児童委員は、行政や専門機関との「つなぎ役」です。

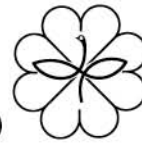
主任児童委員は子どもや、子育てに関する支援を専門に活動しています。



香川県民生委員・児童委員キャラクター
「香川県版 ミンジー」

これからも地域とともに民生委員・児童委員

※民生委員・児童委員、主任児童委員を知っていただくため、各地区で「民生委員・児童委員の日」の活動に取り組んでいます。
(令和6年度の各地区活動状況)



香川県版 ミンジー
(民生委員・児童委員キャラクター)

観音寺地区



小学校の体育館通路に設置する衛生マットを3枚贈呈しました。

贈呈式で民生委員・児童委員活動の説明と5、6年生全員にリーフレットとポケットティッシュを配布しました。

高室地区



小学校の全校集会でドッジボールの贈呈と、民生委員・児童委員活動を説明しました。

常磐地区



常磐小学校卒業生に民生委員・児童委員PRちらしをクリアホルダーとマーカーセットと一緒に贈呈し、常磐地区の民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を説明しました。

柞田地区



小学5年生を対象にした出前福祉教室に参加し、高齢者疑似体験や車いす体験、視覚障がい者体験を一緒に行いました。終了後に、柞田地区の民生委員・児童委員、主任児童委員の活動状況を説明し、自習帳を贈呈しました。

豊田地区



豊田地区愛育会と共催で夕涼み会を実施しました。射的やボール入れ、宝石拾い、スーパーボール拾い、七夕飾りづくりなどをして世代間交流を行いました。

栗井地区



公民館で民生委員・児童委員活動の説明をした後、徒歩で藤目城の本丸まで登りました。現存する曲輪などの城の施設の見学を行い、ふるさとの歴史について理解を深めました。

木之郷地区



「歩け歩け大会」で母神山にある三二四国88ヶ所を三世代で巡りました。

一ノ谷地区



一ノ谷地区文化祭開催に合わせて、来場者へ民生委員PRちらし、クリアファイル、ポケットティッシュを配布し、理解を深めていただくよう広報活動を実施しました。

伊吹地区



伊吹地区町民運動会に合わせて、来場者へ民生委員PRちらしとボックスティッシュを配布し、民生委員活動を広く知っていただき、理解を深めていただくよう広報活動を実施しました。

大野原地区



Aコープ豊南店舗前で買い物に来られた地域住民に、PRチラシとごみ袋を配布して民生委員・児童委員活動の啓発を行いました。

豊浜地区



集団下校の小学生と一緒に歩いて危険箇所の点検(マップウォーキング)を行いました。

編集後記

会報「きずな」の発行にあたり、原稿をお寄せ頂きました方々、誠にありがとうございます。今回第13号は、本年12月に民生委員・児童委員の活動の中心に据えられ、各地区の活動状況を掲載させていただきます。今後、皆様の活動の参考になれば幸いです。今期で任期を迎えられる皆様、ご苦労様でした。引き続き活動される皆様、より充実したご活躍を期待しています。

編集後記
表紙題字
三好英志
富原一郎